

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 11月29日(火)
12月6日(火)
12月9日(金)
案件 議案8件、陳情1件、
報告2件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
職員の給与に関する条例
(一部改正)

特別区人事委員会の勧告等に伴い、
職員の給料表及び勤勉手当の支給月数
を改定するもの

特別区人事委員会について

問 特別区人事委員会では、どのよ
うな話し合いが行われているのか。

答 中立の第三者機関として、職員
の給与やその他の勤務条件が社
会一般の情勢に適応するよう民間との
比較等を行っている。

可決
墨田区組織条例(一部改正)

地域力向上、子ども・子育て支援の
一層の充実等、区長部局の組織体制を
整備するもの

可決
墨田区教育に関する事務の
職務権限の特例に関する条
例(新設)

スポーツ及び文化に関する事務につ
いて、区長部局において行うこととす
るため、区長が当該事務を管理し、執
行することを定めるもの

※2議案一括で質疑が行われました。

なぜ「子ども・子育て支援部」を設
けるのか

問 新たに「子ども・子育て支援
部」を条例で定めるメリットは。

答 スピード感を持って、待機児童
対策などを積極的に担うという
メッセージでもある。

なぜスポーツや文化を区長部局が行
うのか

問 区長部局で、スポーツ及び文化
に関する事務を行うメリットは。

答 スポーツ・文化を中心としたま
ちづくりを区長が責任を持って
展開し、すみだの発展につなげる。

可決
墨田区監査委員に関する条
例(一部改正)

区の人口が25万人以上となり、監査
委員の定数が4人となることに伴い、
識見を有する者のうち常勤の監査委員
を1人置くなどの整備をするもの

人選に当たっては公会計を考慮すべき

問 会計知識を第一として、適正な
人材を選んでほしい。

答 専門的視野を持ち、行政運営を
理解し監査できる人材を選ぶ。

報告
大学誘致の進捗状況等につ
いて

本区への進出意向を示している大学
との協議状況についての報告

誘致活動の期限を明確にすべき

問 地域からは、期限を定めて誘致
を進めるべきとの声があるが。

答 来年度予算にも反映していきたく
いので、一つの目安として、今
年度中に決定できるよう進めている。

区民文教委員会

開会日 11月29日(火)
12月1日(木)
案件 議案6件、陳情1件、
報告4件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
本所地域プラザの指定管理
者の指定について

平成29年4月1日から3年間、一般
社団法人地域プラザB・I・G S・H・I・P
を指定管理者に指定するもの

今後の指定管理者の指定期間について

問 本所地域プラザは「指定管理者
の指定の手続等に関する要綱」

の規定により非公募で、指定期間3年
間となったが、今後もずっと非公募を
継続するのか、指定期間も原則の5年
間とするべきではないかなど、現時点
ではどのように考えているのか。

答 非公募を続けるのが良いのか、
競争の原理が働かなくて良いの
かなどを含めて、要綱の見直しや指定
管理者の選定基準等をまとめたガイド
ラインを作成していく中で検討する。

採択
固定資産税及び都市計画税
の軽減措置の継続に関する
陳情

固定資産税及び都市計画税の軽減措
置の継続を求めるよう東京都に対し意
見書の提出を求めるもの

小規模住宅や中小企業の多い本区で
は採択すべき

意見 区民や事業者にとって、この軽
減措置は非常に重要であり、平
成29年度以降の継続を都に求めていく
必要があると考える。

産業都市委員会

開会日 12月5日(月)
案件 議案3件、陳情1件、
報告3件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区分譲マンションの適
正管理に関する条例(新設)

良好で継続的な住環境の維持促進を
図るため、分譲マンションの管理に関
して必要な事項を定めるもの

マンション管理者等に対する支援を

問 分譲マンション管理者等とその
管理状況を区へ届け出る義務を

課すことで、区はその管理状況を把握
できるようになるが、これを基に区は
どのような支援を行うのか。

答 まずはマンション管理者等に問
題点を把握してもらい、専門の
アドバイザーへの相談などにつなげて
いきたい。また、個々のマンションの
状況に合った支援制度の紹介や適切な
情報提供を行っていく。

可決
墨田区木造住宅耐震改修促
進助成条例(一部改正)

木造住宅耐震改修を促進するため、
緊急対応地区の区域を拡大するもの

耐震化率向上のための対策は

問 住宅耐震化率95%を実現するに
は、区域の拡大だけではなく助

答 成金額の拡充も必要ではないか。
耐震化率の向上には更なる対策
が必要だと考えており、助成金
額の拡充なども検討していきたい。

福祉保健委員会

開会日 12月2日(金)
案件 議案8件、陳情1件、
報告6件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
平成28年度墨田区介護保険
特別会計補正予算

一般会計への繰出金、国都等返還金
など、8471万5000円を追加す
るもの

介護保険料は引き下げるべき

問 区民の生活を考えると介護保険
料を引き下げていくことが求め

られている。一般会計に繰り入れられ
る分については、何らかの引下げに使
われるのか。

答 一般会計への繰入れについて
は、介護保険施策として、平成
28年度の介護給付費や、低所得者向け
の負担軽減策に充当する。

可決
文花子育てひろばの指定管
理者の指定について

平成29年4月1日から1年間、社会
福祉法人ベタニヤホームを指定管理者
に指定するもの

大学誘致を見据え、早めに代替施設
を決めるべき

問 文花子育てひろばは、大学誘致
の予定地にあるため、代替地を
早めに決めて移さないと、毎年指定管
理の手続をしなければならず、また、
今後は解体も行われるので、子育て環
境の徹底整備にもならないと思うがど
うか。

答

早く移転させて利用者に安心し
た環境を整えたい。利用者やボ
ランティアなど地域に根ざした施設で
もあるため、地域の近くで代替を見つ
けることが望ましいと考えており、そ
の調整を図っているところである。

報告
家庭センター跡地における保
育施設整備について

平成28年3月で閉館した家庭センタ
ー跡地に、民設民営の認可保育所を整
備していくことについての報告

人口推計等も考慮し、施設の有効活
用を

問 区の一体的な子育て支援の環境
整備や待機児童のことも考える

と、家庭センター跡地は大変貴重な区
有地であり、2階建ての保育施設だけ
ではもったいない。人口推計等も考え
て大胆な提案をしてもらいたい。

答 待機児童対策として保育所を整
備し、こども園化につなげるこ
とも含め基本計画との整合性を図る。
場所の有効活用は当然の話であり、民
間からの提案を受け、趣旨に沿った形
で対応していきたい。

採択
骨髄移植ドナーに対する支
援制度の導入に関する陳情

東京都が創設した補助事業を活用し、
「骨髄移植ドナー支援事業」を墨田区
においても導入を求めるもの

ドナーへの支援は必要である

意見 平成28年第3回定例会の一般質
問で、ドナー支援をしていくべ
きである旨の質問に対し、区長から前
向きな答弁もあったので採択としたい。



決算特別委員会の様子

認定 自由民主党

■財政面では、行財政のスリム化に引き続き取り組みと同時に、転入促進、定住促進、戦略的側面からの政策を求める。

■防災対策について、北部地域における不燃化率や耐震化率の向上への取組が喫緊の課題となっている。エリアの拡大、助成額の増額等を強く求める。

■待機児童ゼロに向け、区立認可保育園の認定こども園への計画的な移行、定員拡充による待機児童解消、保育士不足に対する区独自の施策等、更なる努力を求める。

■新年度の予算編成に当たっては、過年度の施策効果を十分確認した上で、各事業において明確な数値目標を立て、具体的な施策でどのような結果が期待できるかを明らかにすることを求める。

認定 公明党

■財政状況が改善していること、公平・公正な予算執行が行われたこと、今審議の中で各施策の課題を区と共有し、次年度の予算編成等に関する建設的な意見交換ができたことから認定するが、次の3点を求める。

■新公会計制度に基づく財務諸表から浮かび上がる諸課題を的確に把握し、行財政改革の更なる推進と区民サービスの質の向上を強く求める。

■現在推進している行政計画や今後策定される行政計画は新たに資産形成や事業コストに係る資料の提示を求め、その中で、財政上大きな課題が顕在化してくる場合は既存計画でも見直すことを求める。

■補助金の抜本改革は、開かれた場で議論を進めること。

不認定 日本共産党

■最大の問題は、すみだ北斎美術館の建設を強行したことである。この美術館は建設費だけでなく、建設後の管理運営費などが多額にのぼり、区財政や他の区民施策を圧迫する。また、ふるさと納税を当てにした財政運営は、財政規律の面からも問題である。

■国民健康保険料の負担軽減に努めるよう改めて求める。また、後期高齢者医療保険料、介護保険料も高齢者に大きな負担となっており、軽減策を実施すべき。

■区立保育園の認定こども園化と民営化について、計画を撤回し、抜本的に見直すよう求める。

■公の施設は区民福祉増進のために設けられたもので、安価で利用しやすいことが重要である。施設使用料の一斉値上げは撤回すべき。

認定 すみだの絆

■本決算では、ほぼ全ての指標が改善を示したものの、社会保障関連経費の増大による歳出増や法人事業税の一部国有化などにより、後期の財政運営に厳しさが増すことが予想されているため、コンパクトな財政運営を目指すべき。

■今後の地域コミュニティについて、区として「地域力日本一」という目標に見合った施策を整えるとともに、共助の必要性をしっかりと訴えてほしい。

■子育て支援では保育士確保策の拡充と、児童館等保育所以外の子ども関連施設の整備も重要である。

■今後の行政運営には、職員が公務員としての規範意識と共助の意識を持って職務に臨むことと、各所管一丸となった組織体制の構築が急務である。

認定 民進党

■教育について、子どもの貧困対策、いじめ・児童虐待対策、教育環境の改善、主権者教育や食育、オリンピック・パラリンピック教育の充実を求める。

■子育て支援について、待機児童問題の早期解消、出産・育児の切れ目のない支援、病児・病後児施設の充実、一時預かり・一時保育の更なる充実を求める。

■2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、組織力の強化、外国人観光客に対するハード・ソフト面の整備、区の魅力を区内外に発信するための積極的なSNSの活用を求める。

■住宅環境整備について、すみだ良質な集合住宅認定制度の更なる活用、ファミリー世帯の定住化対策を求める。

認定 新しいすみだ

■公共施設の統廃合や管理運営の民間委託などにより、固定経費の更なる削減が必要である。聖域を設けない節約を要望する。

■職員研修を充実して、将来の幹部職員を養成してほしい。

■国民健康保険、介護保険等の保険料は、区民にとって大きな負担となっている。無駄のない事業の実施と効率化を強く要望する。

各会派等 決算に対する主な意見

主な質疑

問 国技館5000人の第九コンサートの今後について伺う

答 コンサートは、平成29年2月に33回目を迎え、すみだの音楽として定着しているが、最近では全国で第九を歌う会のイベントが行われている。30年を経過して区民の参加者が減り、高齢化も進んでいるが、今後のコンサートの方について伺う。

答 事業の継続については、実行委員会と協議する必要があるが、指摘の点を踏まえつつ、認識を新たにしていっていただく。財源調達についても新たなファンドレイジングの仕組みも協議して進めていく必要がある。

生活困窮者自立支援にフードライプの仕組みづくりを提案する

問 目の前の困窮した方々を救うためにフードドライブ（家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに提供する活動）の仕組みを構築するなど、あらゆる手法を使って生活保護に至らないための支援が必要である。

答 生活困窮者の自立支援は、大きな問題であり、この提案については足立区の例を検証して、本区でどのように取り組めるのか勉強したい。

駅ホームの転落事故防止に対する積極的な対応を望む

問 東京メトロが駅のホームドア設置を最大1年前倒しするというところで、他の鉄道事業者も検討を進めていると思う。区は区内の駅の実態をしっかりと把握して、その対応について検討を進めてほしい。

答 鉄道事業者の積極的な姿勢は、歓迎するものである。区内の各駅に対して調査を行うための調査票を作成しており、今後、国土交通省の対応等も含めて注視していきたい。

児童館の老朽化に伴う改修など、子育て環境の徹底整備を

問 児童館がかなり老朽化している一方で、子ども版地域包括センター事業を行うこととしており、ハードの整備とソフト事業に離れがある。この辺をしっかりとマッチングさせる必要がある。

答 児童館の改修は必要だと考えているので、所管部と調整しながら、来年度に児童館のあり方について、（仮称）子ども政策課の中で検討していく。将来の児童館ゾーンも併せて検討して、基本計画を見直すときには後期計画にきちんと予算付けも考えたい。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組について

問 来年度の組織改正で、スポーツ振興課も教育委員会事務局から（仮称）地域力支援部に移行するが、重要なのはオリンピック・パラリンピック準備室が司令塔になり、情報収集し、各所管部に情報を流すことである。

答 区がオリンピックで何を目指していくのか、今年度中に基本指針をつくっていききたい。その中でスポーツ振興、文化芸術振興、観光、地域力の更なる創造について強化していきたい。準備室が司令塔になって、全庁挙げて何ができるのかを考えていきたい。

大学誘致は、誘致してからが本当に大事である

問 どのような学部と先生が来るのか分からないが、研究者や学生、区民等と一緒に区の問題解決に貢献してくれることが大事である。立花地域が多少活性化するくらいでは誘致する意味はあまりない。

答 進出していただける大学の学部の特色を生かして、地域貢献をしていただきたいということもしっかりと伝えて、大学誘致が区の活性化につながるようになっていく。



決算特別委員会の様子

墨田区議会各会派 今年の抱負



自由民主党
幹事長
沖山 仁

日頃から区議会自由民主党にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、新成人の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

昨年は今後10年間の方向を定める墨田区基本計画が策定されました。また我が会派が中心となり議論し続けてまいりました「すみだ北斎美術館」も無事開館の運びとなり、これまで以上に日本に、そして世界に本区をPRする機会に恵まれた一年となりました。

本年も皆様の豊かな生活構築のため
区政の様々な課題解決に13名一丸とな
り責任を持って全力で取り組んでま
います。本年が皆様にとりまして素晴
らしい一年となりますようご祈念申し
上げますとともに、より一層のご支援
を賜りますようお願い申し上げます。



公明党
幹事長
加納 進

日頃から区議会公明党にご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。昨秋、すみだ北斎美術館が開館いたしました。予想を上回る来館者や関連イベントのにぎわいで地域活性化への期待が高まっていますが、一方で多くの課題も見つかっています。

公明党は、かねてより課題解決型・政策提案型の議会をめざし「議会改革」を主張してまいりましたが、今年は、開かれた場で議論がスタートする予定です。防災対策、オリンピック・パラリンピックを視野に入れた福祉のまちづくり、産業や観光の振興など課題山積ですが、議会主導で政策の形成サイクルを構築してまいります。

本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本共産党
幹事長
高柳 東彦

皆様におかれましては、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。日頃から日本共産党の活動に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

いま、格差と貧困の拡大、消費税増税や社会保障改悪などで、暮らしも営業も大変です。こんな時に、身近な区政が、暮らしを守る自治体本来の役割を果たすことが強く求められます。

ところが区は、国民健康保険料や施設使用料の値上げ、保育園の民営化すみだ中小企業センターの廃止などを進めています。日本共産党区議団は、暮らし第一の区政への転換を強く求めて全力を尽くしてまいります。

また、「野党と市民の共闘」を更に前進させるため頑張ります。一層のご支援を心からお願ひ申し上げます。



すみだの絆
幹事長
田中 哲

区民の皆様には、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。また、日頃から私達、地域連合「すみだの絆」に温かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私達、地域連合「すみだの絆」は人と人が支え合う地域のつながりや人のやさしさ、まさに「絆」が何より大切であると考えています。今年も、山本区長と共に地域力日本一を目指して地域に根ざして「すみだの『夢』」の実現のために、積極的に協力・提案して「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」が実感できるように、区民の皆様と一緒に働いていきたいと考えておりますので、本年も、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



民進党
幹事長
あべきみこ

新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお慶び申し上げます。また、日頃から区議会民進党の活動にご理解ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年11月に新たな観光施設として
すみだ北斎美術館がオープンしました
2018年には刀剣博物館の開館も予
定され、さらには2020年に東京オ
リンピック・パラリンピックも開催さ
れます。区議会民進党は「国際観光都
市すみだ」の実現に向け、人と人との

つながりを大切にした魅力あふれるま
ちづくりを目指してまいります。

また子育で世代や高齢者の皆様が住みなれたまちで暮らし続けていけるよう全力で努めてまいります。

本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会派等の所属議員

略 称	会 派 名 等	所属議員名（五十音順）
自民党	墨田区議会 自由民主党	冲山 仁、加藤 拓、木内 清、坂井ユカコ、坂下 修、佐藤 篤、しもむら緑、瀧澤良仁、田中邦友、中沢えみり、樋口敏郎、福田はるみ、松本ひさし
公明党	墨田区議会 公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、高橋正利、千野美智子、とも宣子、はねだ福代
共産党	日本共産党 墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、村本ひろや
きずな	地域連合「すみだの絆」	田中 哲、西村孝幸
民進党	墨田区議会民進党	あべきみこ、堀よしあき
墨田オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
新すみ	新しいすみだ	井上ノエミ
民進墨	墨田区議会民進党墨田の会	渋谷ちしゅう

平成28年第4回定例会 議決議案等と各会派等の賛否の状況

○賛成 ×反対

[illegible]